



碧南ロータリークラブ週報

第2253回例会 平成17年1月26日(水) 晴. 最高9.4℃. 最低3.5℃

- 会長 池田 弘孝 ● 幹事 黒田 昌司 ● SAA 小笠原良治
- 例会日 毎週水曜日 12:30 ■ 例会場 碧南商工会議所ホール
- 事務局 碧南商工会議所内 〒447-8501 愛知県碧南市源氏神明町90
TEL <0566>41-1100 FAX <0566>48-1100
ホームページ: <http://www.hekinan-rc.jp/>
E-mail: info@hekinan-rc.jp
- 会報委員 鶴田光久・杉浦昌裕・石川唯司・竹中 誠

ロータリーを
祝おう

100年の歩み

2004～2005年度
国際ロータリーのテーマ



● 斉 唱

ロータリーソング 「今日も楽し」

● 本日のメニュー

和風弁当 とんがり帽子

● 本日のお客様

卓話講師 小丸清子様
遠藤武生様
徳常久子様



池田弘孝会長

会 長 挨拶

最近ゴルフ場の支配人を仲間とするスキミングが摘発されました。多額の被害だったようで、ほとんどの人がセーフティーボックスの暗証番号とキャッシュカードの暗証番号が一語だったようです。気をつけたいものです。

私事ですが、1月14日に振り込め詐欺に遭うところでしたのでご紹介します。

昼の1時少し前でした。電話に女房が出て、おろおろしていましたので、聞きますと、警察から「息子が車で人身事故を起こした」ということでした。

私が代わりますと、「警察です。お宅の息子さんが人身事故を起こされました。追突事故で相手の運転者はシートベルトを掛けていたので怪我はありませんが、隣に乗ってみえた奥さんが妊娠8ヶ月で頭と腰を打たれ救急車で病院に運ばれました。息子さんは大変興奮してみえまして言葉になりませんが、息子さんに代わります」。泣きじゃくる声で僅かに「すみません」と言う声にも聞こえました。それで、警察と名乗る人と代わり、私がすぐに現地に行くと言いましたら、「今現場検証をしていますので、後ほど所轄の警察署から連絡があります。それから迎えに来てください。相手の小林さんがいい方で、示談でどうかと言われますので、よく話し合ってください」とのこと。小林という人がでたので、一通りのお詫びをしました。次に、保険屋に代わり、「保険に入ってみえますので、すべて保険で処理させていただきます。修理代、レッカー代、治療費、入院費等450万さしあたって立替えが必要です」と言われました。お金の話ですから、「お会いしてお話しましょう」と言いますと、「岡崎警察署の交通課の山下です」と言ったので、すぐに伺いますと言って電話をきりました。

保険屋の対応がいやに速いと思い、ひょっとしてと…、本人に確認をしたくて携帯に電話しま

すと、「なんだったァ」という返事で、「事故を起こしたのか」と聞きますと、「何にもやっていないよ」という返事に胸をなでおろしました。

1948年（昭和23年）1月26日ちょうど今から57年前の今日のことです。薄ら寒い日の午後3時頃、東京の帝京銀行支店の行員出口から、若い事務服を着た女が、靴下はだしではうように出てきた。女は、「銀行の中が大変です。早く交番に知らせてください」と通行人に頼んだ。

犯人は、「厚生省の予防課から来ました。赤痢の予防薬です」と言って16名の行員に飲ませました。このため12名が死亡、犯人は逃走しました。これが帝銀事件です。

7ヶ月後に画家の平沢貞道が逮捕されました。平沢は頑固に無罪を主張しましたが、その後一切を自白、死刑を宣告されました。

「顔も違うんです。平沢の顔は、頬骨が発達しすぎているんです」と第一報を知らせた女行員が言ったそうです。何故か平沢には死刑が執行されず、95歳になって医療刑務所で死を迎えました。

いつの世も詐欺には気をつけたいものですが、ますます対応の難しい時代になってきました。

幹事報告

他クラブの例会変更等につきましては、お手元の資料のとおりです。

委員会報告

〈出席奨励委員会〉

総会員数 79 名（内出席免除者 14 名）出席者 69 名	
出席対象者 60 / 62 名	出席率 95.38%
欠席者 10 名（病欠者 0 名）	前々回修正出席率 100%

〈ニコボックス委員会〉

※三週連続出席率100%の場合は記念品を差し上げます。

青木 稔君 講師の小丸清子さん、同行の遠藤さん、徳常さん本日はありがとうございます。心より歓迎致します。

竹中 義雄君 お陰様でISO9001の認証を頂戴できました。有難うございました。

石川 春久君 たかが、遊びの事ですが、目標を持つ重要性を実感しました。お陰様で夢の現実に少し近づいたようです。

杉浦 成人君 中経に紹介記事が載りました。

早退12件 合計31,000円

卓話

「熟年主婦タクラマカン砂漠に挑む」

講師 小丸 清子様

〈講師紹介 青木 稔会員〉

スウェーデンの探検家SVEN HEDINの名前は皆様よくご存知だと思いますが、楼蘭の遺跡の発掘者として知られています。彼の探検記「さまよえる湖」には、中央アジアの探検記が紹介されていますが、遭遇する未知の土地を生々しく伝えています。

タクラマカン砂漠における探検旅行で彼はある判断の誤りから飲み水を失い仲間を失い彼自身も絶望の淵に立ったけれど偶然河床を見つけ生還できたのです。

彼の探検記に胸を躍らせた人は多くいらっしゃると思いますが、中には自分もあの砂漠に挑んでみたいと強烈に思い焦がれた日本人がいました。そのことを思い温めて40年、齢78歳になってついにタクラマカン砂漠に旅立った男がいました。全国から仲間を募集し、ここに熟年11人の砂漠横断73日間の横断旅行隊が結成されました。

講師の小丸清子さんは4人の女性隊員の一人です。
それでは、映像を御覧いただきながらお話をさせていただきます。



映像を解説しながら卓話をされる小丸清子様

<会報委員 石川唯司会員記>

熟年主婦である小丸清子さんが厳寒のタクラマカン砂漠北緯39度線横断の旅を決断され実行されたパワーに感服しました。

卓話の後、彼女にお話を伺う機会を得ましたので、旅をしてみていかがでしたかとお尋ねすると、「とてもよかったです。リフレッシュできました」とのことので改めて感心しました。また、「何が一番大変でしたか」と伺うと、「人間関係が一番難しかったです」との言葉が返ってきました。これには考えさせられました。

次回例会案内 平成17年2月9日(水)
卓話「デンマークホームステイ雑感」 講師 会員 石川唯司君